

水性エポキシプライマー

## アトム水性エポプライマー

無鉛

アトム水性エポプライマーは水性型のエポキシ系プライマーで一般コンクリートに対して強力な接着力を発揮します。また、Pタイルや長尺シート除去後のプライマーとしてご使用できます。

## 特長

- (1) 水性のため、火気に対して心配がありません。
- (2) 一般コンクリート面に強力に接着します。
- (3) Pタイルや長尺シートの接着剤を軟化させることなく接着します。
- (4) 低臭なので、屋内での作業環境が良好です。

（一社）日本塗料工業会登録	
登録番号	A03160
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

## 用途

一般コンクリート用、Pタイルや長尺シート撤去後の改修用

## 内容量・荷姿・塗り面積

内容量	15.2kgセット	塗り面積
主 剤	6kg	約75㎡
硬化剤	6kg	
骨 材	3.2kg	

※二液一骨材からなる水性エポキシプライマーです。

## 可使時間

2時間 (23℃)

## 上塗り適正材料

厚膜タイプ	フロアトップ#8000、エポワン、U-#90、U-100NEO、タフモル
薄膜タイプ	フロアトップアクア フォルティス、フロアトップアクア W#5000 フロアトップアクア エポ21 フロアトップ#1400、アクアクリーンU、水性アトムエポクリーン

※Pタイルや長尺シートの接着剤が残った上へ塗装する場合は、水性または無溶剤型塗料をご使用ください。

## 既存塗膜への付着性

厚膜タイプ	フロアトップ#8000
薄膜タイプ	フロアトップアクア W#5000、フロアトップアクア エポ21 フロアトップ#1400、#5000、#8500、#8500速乾 アクアクリーンU、水性アトムエポクリーン

※サンディング処理後に塗装できます。

※上記以外の既存塗膜への付着性は、ご使用前に当社までお問い合わせください。

アトム株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡 3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

# アトム水性エポプライマー

## 施工仕様例

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (時間/23℃)
1	下地処理	—	—	—	—
2	下塗り	アトム水性エポプライマー	—	0.15~0.20	3~24
3	上塗り	フロアトップアクアフォルティス アクアクリーンU等	—	各仕様参照	—

※塗装間隔は最短時間と最長上塗り可能時間です。

## 施工要領

工程	施工方法
1	下地処理 コンクリート打設後4週間以上経過しており、含水率が適切な範囲であることを確認してください。下地に付着している土、泥、汚れ等を取り除き、またレイタンス、エフロレッセンスをポリリシャサンダー等で完全に除去してください。特に油汚れは塗料の付着不良を起こすため、完全に除去してください。
2	アトム水性エポプライマー 主剤：硬化剤を6kg：6kgの割合で混合し、電動攪拌機にて十分に攪拌してください。更に、骨材を3.2kg加えて骨材のダマが無い様に電動攪拌機で良く分散させてください。塗装はローラーだけにて行ってください。
3	上塗り フロアトップアクアフォルティスまたはアクアクリーンU等（各仕様書参照）

## 注意事項

### 1. 塗装（施工）前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。

### 2. 塗装（施工）中の注意

- 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下します。必ず同一日に上塗りしてください。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁してください。
- 二液型塗料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使用時間（ポットライフ）にも十分に注意して塗装してください。また小分けする場合は、必ず小分けする前に十分に攪拌し、均一にした後はかりを用いて計量、混合してください。
- 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用してください。
- タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けてください。
- 常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。

### 3. 塗装（施工）後の注意

- 湿度の高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。
- 乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
- 直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してください。

### 4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート（1m<sup>2</sup>以上）を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。（ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする）
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要を確認し、除去しない場合は、事前に当社までご相談ください。
- 特殊強化コンクリート面は、表面が硬くなめらかなため、塗料の付着がよくありません。また表面が油で汚れている場合やワックス処理されている場合は、さらに付着性が悪くなりますので、事前に当社までご相談ください。
- ワックスやシリコン等が下地に残っている場合は、乾燥の遅れや上塗りに支障の出る事がありますので、事前に当社までご相談ください。

### 5. もしもの場合

- 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 眼に入った場合は、多量の水で洗ったあと、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。

### 6. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社までお問い合わせください。